

学年・教科・担当者	2年・社会 中村 亜紀
-----------	-------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・展開する天皇・貴族の政治 ・武士の世の始まり 	<p>○摂関政治をもとに平安京における貴族の政治の特色をとらえさせる。</p> <p>○東アジアの情勢の変化によって、わが国でも政治と文化において独自の動きが見られるようになったことに気付かせる。</p> <p>○日本独自のかな文字が発明され、それを使った文学作品が書かれたことなどに気付かせ、文化の国風化が進んだことを理解させる。</p> <p>○武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解させる。</p> <p>○武家政治の特徴を考察し、天皇や貴族の政治との違いという観点から、古代から中世への転換の様子に気付きかせる。</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・武家政権の内と外 ・人々の結びつきが強まる社会 	<p>○元寇がユーラシアの変化の中で起こったことなど、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解させる。</p> <p>○南北朝の争乱の中で室町幕府が成立し、武家社会が次第に大きな力をもっていくこと、日明貿易で銅銭が大量にもたらされ、貨幣経済の発達を促したこと、琉球が日本、明や朝鮮、東南アジア諸国との中継貿易を行っていたことに気づかせる。</p>
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海によって結び付く世界 ・戦乱から全国統一へ ・武士による全国支配の完成 	<p>○ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつくられたことを理解させる。</p> <p>○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。</p> <p>○産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。</p> <p>○社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。</p> <p>○交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>○近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>○近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p> <p>○江戸幕府の支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど、中世から近世への転換のようすを、中世の武家政治との違いに着目して考察させ、自分の言葉で表現させる。</p> <p>○江戸幕府の成立と大名統制については、幕府が大名を統制するとともに、その領内の政治の責任を大名に負わせたことに気付かせる。</p>
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・天下泰平の世の中 	<p>○身分制のもとで、人々はそれぞれの身分の中で職分を果たしたことで、農村が幕府や藩の経済を支えていたことなどに気付かせる。</p> <p>○農林水産業や手工業、商業などの産業や河川・海上交通、街道が発達したことについて、身近な地域の特徴を生かした事例を選んで理解させる。</p> <p>○藩校や寺子屋などの普及に着目して、人々の教育への関心の高まりに気づかせるとともに、学問・芸術・芸能などの地域的な広まりに着目して、文化の社会的な基盤が拡大したことを理</p>

			<p>解させる。</p> <p>○近世の文化について、大阪・京都・江戸などの都市を舞台に、経済力を高めた町人を担い手とする文化が形成されたことなどを理解させる。</p>
2	9	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化と幕府の対策 ・欧米諸国における「近代化」 	<p>○貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化などをふまえ、近世社会の基礎が動揺していったことに気づかせる。</p> <p>○外国船の接近とそれに対応した幕府による北方の調査や打払令などを取り上げる。</p> <p>○財政の悪化などを背景とした幕府の政治改革を取り上げ、百姓一揆などに結びつく農村の変化や商業の発達などへの対応というねらいがあったことに気付かせる。</p> <p>○蘭学や国学などの中に新しい時代を切り開く動きがみられたことに気付かせる。</p> <p>○政治体制の変化や人権思想の発達や広がり、現代の政治とのつながりなどと関連づけて、アメリカの独立やフランス革命を取り上げ、政治的な対立と社会の混乱、そこで生じた犠牲などを経て近代民主政治への動きが生まれたことに気付かせる。</p> <p>○工業化による社会の変化という観点から、イギリスなどにおける産業革命を取りあげ、資本主義社会が成立したことや労働問題・社会問題が発生したことに気付かせる。</p> <p>○産業革命の進展にともなって、欧米諸国が新たな工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジアへの進出を強めたことを理解させる。</p>
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・開国と幕府の終わり ・明治政府による「近代化」の始まり 	<p>○欧米諸国のアジア進出と関連づけて取り扱い、アヘン戦争後に幕府が対外政策を転換して開国したことと、その政治的および社会的な影響を理解させ、それが明治維新の動きを生み出したことに気付かせる。</p>
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・近代国家への歩み ・日本の地域的特色 	<p>○自由民権運動の全国的な広まり、政党の結成、憲法の制定過程とその内容の特徴を取り上げ、大日本帝国憲法の制定によって当時アジアで唯一の立憲制の国家が成立したことをふまえ、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりに気付かせる。</p> <p>○「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>○日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解させる。</p> <p>○少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解させる。</p> <p>○日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解させる。</p> <p>○国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解させる。</p> <p>○「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解させる。</p> <p>○日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けさせる。</p> <p>○「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域的特色 	

			<p>○日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>○日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>
3	1	<ul style="list-style-type: none"> 九州地方 中国・四国地方 	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、九州地方・中国・四国地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。
	2	<ul style="list-style-type: none"> 近畿地方 中部地方 関東地方 <p><この節のねらい></p>	<p>他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、近畿地方・中部地方・関東地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。</p> <p>他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、中国・四国地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> 東北地方 北海道地方 <p><この節のねらい></p>	<p>他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、東北・北海道地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。</p>

評価について	
評価の観点	評価の方法
①知識・技能	定期テスト・小テスト ニュースノート・新聞・意見文・レポート
②思考・判断・表現	ニュースノート・ニュース発表 レポート・新聞・定期テスト
③主体的に学習に取り組む態度	授業に取り組む姿勢（グループ学習やペア学習など） レポート・新聞・自学ノート・定期テスト